

1. 件名：「泊発電所3号炉の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（154）」

2. 日時：令和5年3月1日(水) 16時00分～18時05分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官※、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、鈴木安全審査専門職、馬場係員、松末技術参与、道口主任技術研究調査官、山下技術研究調査官

北海道電力株式会社：松村執行役員 他6名※

三菱重工業（株） 2名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年2月8日に受取済み>>

- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答
(地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ)
- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答
(地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ) (補足説明資料)

<<本年2月27日に受取済み>>

- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答
(地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ) 追加説明資料

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁タニです。ヒアリングを始めたいと思います。
0:00:06	今日のヒアリングとしてはですね内容としては、泊発電所3号炉基準津波に関するコメント回答で内容として、地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組み合わせということなんですけど、
0:00:21	前回ヒアリングを行ったんですけど、時間も足りなかったということもあってその続きってということで、
0:00:28	申し込んでいただいているので、前回のヒアリングの続きという位置付けになると思います。資料としては2月8日の資料、
0:00:37	前回のヒアリングの時に使った2月8日の資料に加えてですね、追加説明2月8日の追加説明事項として
0:00:49	2月27日に提出していただいている資料があるので、まずこの辺の資料、
0:00:54	追加した資料ですかね説明をいただいてから、確認に移りたいと思います。まず北海道電力からお願いします。
0:01:06	はい。北海道電力の松村です。本日のヒアリングよろしくお願いたします。
0:01:12	今、谷さんからありました通り、2月15日のヒアリングを踏まえまして、一部追加で説明させていただき、いただきたい事項がございますので、資料作成しました。
0:01:23	この追加説明資料につきましてアオキの方から説明させていただきたいと思います。時間10分程度予定しておりますよろしくお願いたします。
0:01:35	クロボクの青木です。私の方から、追加説明事項の資料についてご説明させていただきます。
0:01:43	まず、ページめくっていただいて2ページをお願いいたします。
0:01:47	こちらの資料につきましては2月8日の提出資料から変更ございませんが、前後の流れもありますので要点だけ簡単に移らした後、後から変更ございませんが、マツバラさせていただきます。
0:02:00	規制庁谷です。吉井泊のところから説明させて。規制庁谷です。なんかやっぱりね声が、二重にかぶって聞こえているような状態なので、
0:02:12	もうちょっと画像と資料資料出さなくてよくて、画像も1回、ビデオを停止してもらって、これだけでしばらくやってみましょうか。
0:02:27	オカダ2課アオキです。了解いたしました。
0:02:32	はい続きお願いそれでは説明。
0:02:34	説明続けさせていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:37	ページに回答方針の三つ目の○から説明させていただきます。
0:02:43	等となる発電所の特徴を踏まえますと、以下が課題であると考えております。
0:02:48	この組み合わせ評価では波源 1 移送の変動を考慮した場合に、頭の各ピークとかさマティスが大きくなる可能性があるかと。
0:03:11	ちょうどこのアオキですとちょっと回線能聴取が悪いので先ほど谷さんが説明し、おっしゃったことがまた繰り返し聞こえたんですがこちらの音声聞こえてますでしょうか。
0:03:24	はい、えっとね、こっちも調子悪いのはわかりました。
0:03:29	ずっともうの状態が続いてたんで、
0:03:33	どうしようかな、
0:03:37	もう一度、最初っから、最初からというか三つ目の丸の課題ガス判明したっていうところからお願いします。
0:03:47	当北海道電力のアオキですと、課題が判明したのは後から続けさせていただきます。
0:03:54	一つ目の矢羽根で、組み合わせ評価ってのは半分 1 層の変動を考慮した場合に川白のピークと重なって、水位が大きくなる可能性があると考えております。
0:04:04	また二つ目の矢羽根と地震に伴う津波の最大ケースケース 1 から 20 を対象波源としていましたが、これ以外の波源、具体的には波源位置の変動を考慮した波源において、
0:04:16	上記の通り水位が大きくなる可能性があるものと考えております。そこで、水位が大きくなる可能性があるという課題より、追加解析の波源位置の変動考慮を、
0:04:26	することで、
0:04:28	組み合わせ評価の妥当性、資金に対して大きな影響を及ぼす波源の妥当性を示すという方針を考えてございます。
0:04:35	そこから 3 ページをお願いいたします。
0:04:41	こちらの 3 ページについては、前回資料から追加した資料となっております。左上テキストボックスのところで、追加解析の検討対象ケースの選定方針について整理してございます。
0:04:56	まず、組み合わせ評価における影響要因については、右の表の通り、網羅的に抽出してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:03	この右の表では、まず波源として、断層パターン、アスペリティ波源位置、断層面上縁深さをこれらの組み合わせによって波源が構成されております。
0:05:14	また波源とは別に組み合わせの時間差、また地形モデルとこの要因、影響要因があると考えてございます。
0:05:23	また左側のテキストボックス戻っていただいて、これらの影響要因から敷地に対して大きな影響を及ぼす波源となる条件を選定していく必要があると考えてございます。
0:05:33	そこで複数ある影響よりの組み合わせに対して、各病院を順番に分析し、代表と考えられる条件を選定していくことで、追加解析の検討対象を、
0:05:44	選定するという方針にしております。
0:05:47	またなお、複数ある影響要因の組み合わせすべてを対象にするのではなくて、順番に条件を選定していくことで、母集団を減らしてより正確な分析選定。
0:05:57	が可能になるものと考えてございます。
0:06:01	続いて検討①から③の組み合わせ対象波源の妥当性についての考えです。
0:06:07	まず組み合わせ評価における影響を分析するにあたっては、組み合わせ評価を実際にやっております地震に伴う津波の最大ケースのケース 1 から 20 を対象に分析する方針としてございます。
0:06:20	ここで※1 で記載してございますが、他のケース 1 から 20 以外については組み合わせ評価を実施しておらず、
0:06:28	この分析の目的とした追加では実施しないという方針にしております。
0:06:33	続いて二つ目の丸で、3 ポチの地震に伴う津波における検討よりられた筒井の観点から影響の大きい波源、
0:06:42	である、ケース 1 から 20 を対象とすることで、追加解析を踏まえると水移送の観点から敷地に対して最も厳しくなる波源が選定できると考えております。
0:06:53	また検討 1 から 3 の検討順序についてです。
0:06:57	当組み合わせ評価では、地震に伴う津波とは頭のピークの重なり方が重要であると考えておりますので、組み合わせ評価を実施済みであるケース 1 から 20 すべてのケースを対象として、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:09	まず最初に着目するピークについて分析選定していきます。
0:07:14	また、影響要因のうち地形モデルと波源について比較した場合に、波源については、5.6章の特徴を中間報告で説明しました特徴を踏まえると、
0:07:24	傾向が確認できておりますが、地形モデルについては、傾向がまだ確認できていないという状況をかながみまして、まず傾向が確認できてない地形モデルを先に分析選定し、
0:07:35	その傾向を把握した上で、その後波源について分析選定するということで検討に藤さんの順番にさせていただきます。
0:07:44	また最後検討4の組み合わせ対象波源の妥当性についてです。
0:07:49	これは元については断層パラメータを組み合わせたものでありまして、
0:07:53	個別の断層パラメータを変動させた影響を分析することにしております。
0:07:58	また断層パラメータを変動させた影響を分析するにあたっては、地震に伴う津波の最大ケースのケース1から20の最外の波源として、
0:08:08	各断層パラメータを変動させた検討実施済みであります。3ポチ地震津波のパラスタケースを対象に分析する方針としてございます。
0:08:17	ここ※2で書いておりますが、こちらもしっかりと同様に分析を目的とした追加解析は実施しないと、いう方針でございます。
0:08:26	また波源についてはサンポ地震に伴う津波における検定で獲られた水位の観点から、影響の大きい波源であります最大ケースのケース1から2時を対象に、
0:08:37	各断層パラメータを変動させた影響を確認することで、水移送の両方の観点から、敷地に対して最も置き影響を下げの断層パラメータが選定できると考えております。
0:08:50	続きまして4ページをお願いいたします。
0:08:57	ここでは検討後の組み合わせ対象波源の妥当性についてです。
0:09:02	こちらは芸断層パラメーターについてはサンポ地震に伴う津波における検討よりられられた性の観点から影響の大きい波源段差パラメーターである、ケース1から20を対象に、
0:09:15	下限値の変動を考慮した追加バイスを実施することで、ツイート移送の両方の観点から、最も厳しい波源が選定できると考えております。
0:09:24	ここで中央の表のところのところに、まず波源を左側に記載してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:32	また中央の列については、3 ポチ地震に伴う津波における検討結果をまとめたものを記載してございます。
0:09:40	ここで水の観点から、影響の大きい波源を地震に伴う津波では検討しておりましてその結果を、
0:09:48	朱書きで書きさえしておりまして、まず東西方向位置の観点からは東側に位置した場合に生変動量が大きくなる。
0:09:56	また傾斜角 30° とした場合に、地殻変動によって移動する水の量が最も大きくなるので傾斜角 30° とした場合に水位変動量が大きくなる。
0:10:05	また傾斜方法については東傾斜とした場合に水位変動量が大きくなる。
0:10:10	同様にアスペリティ位置については、泊発電所に正対する位置で、
0:10:15	1 であります d 付近にした場合に生変動量が大きくなる。
0:10:19	また、
0:10:21	矩形モデルと区野地モデルの違いについては津波の伝播経路上に波源モデルを配置したく野地モデルとした場合に、水位が大きくなる。
0:10:30	東西方向位置についてはさっきと同様に東側にした場合に水位変動量が大きくなる。
0:10:34	断層面上縁深さについては 5 キロとした場合に水位変動量が大きくなる、こういった特徴が確認できております。
0:10:42	ここから右表の右側に移りまして、検討後の追加解析の検討方針となりまして、波源位置を東方向西方向、それぞれ分けて整理してございます。
0:10:55	東に移動させる観点というところでは、当矩形モデルと区野地モデルの違いで、モデルにした場合にピークが重なる可能性がある。
0:11:04	いうところでこの追加解析を実施するという方針にしております。
0:11:09	また西方向については、東西方向位置としては現地を西側に移動した場合にピークが重なる可能性があるというところで追加解析を実施するという方針でございます。
0:11:20	また、こちらの表の下段のところ赤の破線で囲ってありますところについて、検討 1 から 5 のすべての分析結果を踏まえて波源の妥当性確認というところをまとめております。
0:11:34	ここで検討後の検討対象ケースとして選定した 6-D 南 20 という波源については、概ね水位変動量が大きくなる断層パラメーターとして選定しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:46	この水位変動量が大きくなる断層パラメータについては、各ピークの生変動に対しても同様に、
0:11:53	水位が大きくなる断層パラメータであることを確認してございます。
0:11:58	ここで地震に伴う津波としては、水位下降側の最大ケースという位置付けでありますのでいいについては、この地震津波の特徴のと比べると、西傾斜であったり矩形モデルというところで、
0:12:12	断層パラメータが若干異なるものの概ね性変動量が大きくなる断層パラメータが選定されております。
0:12:19	ここでそれぞれ注釈で記載しておりますが、なのでイを東傾斜にした場合については、こちら6-D南20と同じような%断層パラメータとなるため、
0:12:29	6-D南20の検討で代表できると考えておりますので東傾斜にした検討は実施いたしません。
0:12:36	また7-D奥野地モデルにした場合については、それぞれ東方向に証拠を移動した場合の考え方異なりまして、それぞれの理由で検討は実施してございません。
0:12:47	戸松東方向の観点からは、1層が重なると、こちらのピークが重なるという観点からは、黒字モデルよりも矩形モデルの方が適当であると妥当であるというふうに考えてございます。
0:12:59	また西方向については、
0:13:02	とかくピークの推移を比較した結果は6-D南20の方の結果に代表できるものと考えております。
0:13:10	藤。
0:13:11	そちらを踏まえまして5ページのところでご指摘事項に対する回答方針というところで先の説明内容を、再度整理し直したのになっております。
0:13:21	また5ページについては、前回提出資料から変更ございませんので説明を割愛します。
0:13:29	続きまして7ページをお願いいたします。
0:13:32	説明の観点変わりました、ここでは検討①についての補足というところで整理してございます。
0:13:40	前回提出資料から補足した内容については黄色ハッチング箇所を追記してございます。
0:13:46	こちらの矢印下はテキストボックスについてですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:51	当検討 1 の結果を踏まえまして各ピークと重なって水位が大きくなる可能性がある条件としては、以下の二つの選定結果を基本条件として、以降の検討②から⑤を進めていくというところにしております。
0:14:05	ここでこれ以外のピークが重なって水位が大きくなる可能性については、当数の検討⑤妥当性確認のところの説明でございます。
0:14:16	また、地震、カウンセラーの一般のピークと地震に伴う津波の第 2 版のピークに着目した検討については、波源位置を東に移動させた場合の検討を、
0:14:26	と同じく、川白の一般のピークと地震津波の一般のピークに着目した検討は、西方向へ移動させた場合の検討という位置付けがわかるように追記してございます。
0:14:38	ここで下段の基本条件と書いてあるところは、
0:14:42	従来説明しております、地震津波の 2 羽のピーク一般のピークに着目するということを書いております。
0:14:49	それに加えて、紫色の箱書きで書いております検討⑤の追加配置結果を踏まえて着目するピークは、
0:14:57	妥当かというところについて整理してございます。
0:15:01	この地震津波の一般のピークにピーク以外が重なって水位が大きくなる可能性として、以下の条件等が想定されております。
0:15:09	具体的には波源位置を東に移動させた場合に、川白の第 4 はのピークと、地震津波の第 4 はのピークが挟まって水位が大きくなる可能性などが想定されます。
0:15:21	こここのケースについては組み合わせのピークがと、こちらちょっと第一波もしくは第 2 はあと記載してございますが、ここについては、
0:15:30	当第 4 は、正しい記載ですので、口頭で訂正させていただきます。
0:15:35	この第 4 はでピークにならないというところから検討は不要であると考えておりますが、
0:15:41	このため検討⑤の結果より影響が小さく、第 4 版については影響が小さく着目する必要がないことを確認します。
0:15:50	続いて 8 ページについては、追記した資料となっております。
0:15:56	実際は現地大東に移動させた検討⑤の結果を持ちましても、第 4 版のピーク頭の概要はピックと地震津波の第 4 版のピークは重ならないというところを確認しておりました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:10	ここでは現地を東に移動した場合にいずれのピークも重ならないため、着目するピークの選定結果によって、波源選定に影響はないというものを考えております。
0:16:20	従ってまずは陸上地すべり川白の第一波のピークと地震津波の第2版のピークに着目することは妥当であると判断してございます。
0:16:31	続きまして最後10ページをお願いいたします。
0:16:37	こちらは考え方を1点変更しておりまして、敷地に対して大きな共用波源の変更を実施してございます。
0:16:46	こちら3号取水口上昇側については、変更前ですと、こちら11.78メートルと記載しておりまして、こちらについてはもう1点、
0:16:56	動きでして、こちら、正しくは11.7メートルが正しい表記ですので訂正させていただきます。
0:17:03	こちらの11.7メートルの条件から保守性の観点から、変更後の11.8メートル、組み合わせ時間差110秒。
0:17:13	のものに変更してございます。
0:17:17	前回からの変更、8水域追加の説明事項についての説明は以上とさせていただきます。
0:17:30	規制庁谷です。説明ありがとうございます。
0:17:34	あれですね、今回の日やって前回の時間切れであったこともあるので、まず、
0:17:40	追加説明事項で作っていただいているものを確認した後に、また本編の方も確認していきたいと思っていますので、
0:17:51	まず追加説明事項の方から確認したいと思うんですけどまず私の方からなんですけれども、
0:17:58	これあれですね、こういった、例えば、今、
0:18:04	本編の資料に載ってない、3ページだとか4ページだとか、
0:18:09	7ページに戻るのかこういったものが追加されるってことですね今後で、その一部を説明していただいているってことでいいですね。
0:18:22	連絡の案件ですそういった認識で間違いございません。
0:18:30	その中で基本的には
0:18:33	7ページまでは、今までやった8ページか。
0:18:37	今までやってること、こう考えていましたっていう説明が、
0:18:42	されてて、
0:18:44	要するに説明をちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:47	やってやって実際やってたことに説明が加わった。
0:18:51	で、10 ページだけは、
0:18:55	変更があってそれをこれはあれですねヒアリング資料から変更をしたってことでいいんですよ。
0:19:05	北海道電力の青木です。1 ページにつきましてはヒアリング資料からの変更というところになります。以上です。
0:19:13	すいません。これ
0:19:16	何ページの部分を変更したんですっけ、前回の。
0:19:22	北海道電力の青木です。これに伴って修正を変更するページたくさんございますが簡潔に言いますと、
0:19:33	前回資料の本本資料の最後のページに該当します。217 ページ。
0:19:40	ところが、変更する箇所と考えてございます。
0:19:47	はい。
0:19:52	はい。状況確認できました。
0:20:04	とは言っても、変えたものというか、追加したものはあれですねこの110 秒。
0:20:11	組み合わせ時間 110 秒っていうのが増えたということでもいいんですよ。
0:20:19	報道電力のアオキです。波源として拡充分のものが増えたという認識で間違いございません。
0:20:26	はい、わかりました。
0:20:29	ですね、大事なのか 3 ページ 4 ページあたり。
0:20:35	なのかなと思ってまして、この辺ちょっと確認を始めるんですけども。
0:20:43	全体、どういう方針でどういう結論に導いてるのか北海道電力の言葉で言うと全体の論理構成の補足っていうことなんですけれど、
0:20:53	これ大事なことだと思ってまして今回追加していただいて、
0:20:59	こういうページは要るなと思いました。
0:21:04	ただ、中身を見ていってやっぱりすごく
0:21:08	何か伝わってこないようなところが、
0:21:11	あってですねえ。
0:21:15	確認として 3 ページなんですけど、
0:21:22	なんかあんまり細かいこと言ってもしょうがないんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:29	これまずあれですよね 2 ページで追加解析をやるんですけど、追加解析っていうのは現位置の変動を考慮するといった追加解析をやるんですけどっていうの 2 ページを。
0:21:40	受けてて、それはどうやってやりますかっていうのが、一つ目の 3 ページの一つ目の四角に、全体のことが書いてあると。
0:21:50	ということかと思うんですけども、
0:21:56	これ、
0:22:01	これは何ですか、各要因を順に分析し代表と考えられる条件を設定して、
0:22:09	検討、検討対象ケースを選定する。
0:22:14	敷地に対して影響を及ぼす。
0:22:18	大きな影響を及ぼす波源となる条件を選定する必要があるというのを、二つ目の丸に書いてるんですけども、
0:22:25	これは言いたいことは、何ですかね時間をずらすと組み合わせ時間が変わると。
0:22:34	大きくなるようなものを選ぶんですけどっていう、そういうことを言いたいん。
0:22:39	ですかねそれとも何か。
0:22:40	影響要因から、影響要因って何の影響要因なんですかね。
0:22:45	とかいうのがちょっと何かよくわからなくて、
0:22:48	大きな影響を及ぼす波源となる条件って言うてるのは、
0:22:55	これは
0:22:56	時間の構図、ずらし方の話をしているのか、最終的な
0:23:01	波が大きくなる、話をしてるのかどっちなんですか。
0:23:10	北海道電力の青木です。ここで言うところの影響要因について補足させていただきます。
0:23:18	まず変動を考慮すべき要因という意味合いでここでの影響要因と書いておまして、
0:23:25	まず波源を組み合わせの時間差地形モデルの三つの条件を今組み合わせが考えられるというふうに思っておまして。
0:23:35	そのうち、どの条件を使うかっていうところでその結果のアウトプットとしてⅢが出てくるものと考えております。波源組み合わせ時間差地形モデルというところはいろいろ考える中で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:48	一番厳しくなる条件をし、決めていくっていうところがあるというところを、
0:23:54	二つ目の丸のこれらの影響要因から敷地に対して大きな影響を左舷となる条件を選定する必要があるというふうに説明しているところでございます。
0:24:04	以上です。
0:24:09	この影響要因ってというのが、この右の表で、だから①から③をやるっていうことなんですね。
0:24:20	それが三つ目の三つ目の、
0:24:24	丸ですか。
0:24:32	ということでいいんですね。
0:24:38	北海道でのアオキですその通りの認識でございます。以上です。
0:24:56	四つめが何ですかね、これより正確な分析や選定がここを検討順番にやっていくと、正確な分析や選定が可能になる。
0:25:08	何でなんですかねこれ。
0:25:13	なんでこれ正確な分析選定が可能になっていくんですか。
0:25:18	絞って検討することが、
0:25:22	なんでなのかよくわかんないんですけど、
0:25:25	この北海道電力の青木です。
0:25:28	でも、母集団絞って、
0:25:31	より正確な分析選定が可能になるってところが一般論というところで、あんまり記載してございまして、例えば、全然関係のないケースを対象に分析をしていて、もう、
0:25:44	えられる結論に対して正確な答えが出てくるっていうふうには考えてなくてですね、目的っていうところは一番水位変動が大きくなるっていうケース。
0:25:55	着目しておりますのでそれに向けて厳しくなる条件を順番に選定していくという考えのもと、
0:26:02	順番に条件を選定していくところをここでは書いてございます。以上です。
0:26:09	はい考え方を確認しましたけど、何かただ単にこれ、何か絞っていくってのが合理的にやっているっていうだけなのかと思って、何かより正確な分析っていうと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:21	いや何かこの 20%でスタートしてるのに、より、より正確っていえるの かなってというのが、何か
0:26:29	ちょっと私は理解できなかったってところで確認しました。
0:26:36	うん。
0:26:41	なんだろうなこの、
0:26:45	そう考えているってというのが、
0:26:48	何か全然こう、
0:26:51	根拠れそうな感じがしてですね。
0:26:58	はいはい、名倉さんお願いします。
0:27:05	名倉です。
0:27:07	私自身もここ理解できなくて、
0:27:11	文章がおかしいんじゃないかなって思いました。
0:27:14	正確なではなくて、
0:27:17	やっぱり谷が言ったみたいに、
0:27:20	合理的な評価効率的な評価、
0:27:24	分析選定が可能になるっていうことであって正確ということではないよ うな気がしました。
0:27:32	私強いんがコメントしたことが、
0:27:35	原因なのかなとは思いますが。
0:27:39	私こういうふうに、順に条件を設定していくことで絞り込んでいくとい う考え方をしたつもりはなくて、
0:27:48	それが効率的な確認になるということであればそうしてもいいと思うん ですが、
0:27:54	安全上支障がないかどうかということについて、私は気にしています。
0:28:01	で、具体的に何を気にしてるかっていうと、右側の、
0:28:06	表のところの二つ 2 段目の表ですね。
0:28:09	検討①から 5 の検討方針として①から⑤まで全部これシーケンシャルに やってるんですけど、
0:28:18	例えば②と③の地形等波源に関して、相関性が、
0:28:25	あると。
0:28:27	この順序でやったときに、本当に
0:28:32	安全上支障がないかどうか、漏らしが出てるんじゃないか。
0:28:37	相関性が、
0:28:38	ないんであれば相関性があると。結局、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:45	丹。
0:28:48	予定。
0:28:49	理由なく潰している可能性があるということを気にしています。同様に、
0:28:55	地形モデル、
0:28:57	等、
0:28:58	断層パラメーターの分、相関性。
0:29:02	地形とモデルとの相関性ってということに関しても、
0:29:06	その有無と影響について、
0:29:09	後ろの方のデータでは、相関性があるようなデータも、なきにしもあらずなので、そういうところをちゃんと指定しないと、独立要因として、
0:29:21	順序独立要因であれば順序をどんな順序でやろうと別に気にしませんけれども、
0:29:27	相関性があったら、順序によって、
0:29:31	本来影響があるケースをオミットしてる可能性があるので、
0:29:35	そういったところで安全上支障がないことを私は説明して欲しいという意味で前回コメントをしてるんですが、
0:29:42	全く、ここで答え言われてる内容は、合理的じゃないからそんなことしませんよって言うだけであって、
0:29:51	私合理性は否定してませんので、
0:29:53	効率性ですね。
0:29:56	そこのところ安全上支障がないことの影響をどう説明されるんですか。
0:30:07	北海道電力の奥寺でございます。
0:30:10	ちょっと、ちょっと正確なっていうところの意味合いが、
0:30:15	わかりづらいというところで、
0:30:19	正確なことをこちらが解体宇和まずは、いろんなパラメータがある中で、個別がうまくなく、1人やっても、
0:30:29	わからなくは明確にならないということで、もう一つ一つ、やっていくその対象を明確にすることで、
0:30:40	正確な分析ができるのではないかという、
0:30:45	逆に言いますと、今調整官がおっしゃったように合理的、効率的なっていうところにも繋がるかもしれないんですけどもそういう意図で書いておりますので、
0:30:53	こちらの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:55	胆振については、今の事実確認を踏まえて、そう書きぶりとして検討の余地があるのではないかなと思っております。
0:31:05	神経shallというようなそういうものなのか独立要因なのかと。
0:31:11	この順序に関しての事実確認でございますけれども、
0:31:17	こちらの方については、我々の考えとしては、真ん中のテキストボックスの普段の検討順序ですけれども、先ほどの、
0:31:30	対象を明確に、検討対象を明確にしていくと私、サプレッションのことを言いましたけれども、
0:31:39	そういうイメージにおいては二つ目の丸で、計画が確認できていないところをまずは明確にするのかなという意味でこの順序は、
0:31:49	立てております。
0:31:50	これこの基準上よくやったときに、旧行政があるのかないのかというような観点では、
0:32:02	今、我々はこのやり方で、最終的に最大規模の影響の大きいものを選定できるとは、
0:32:13	考え方の
0:32:14	各校で、
0:32:17	大きなものは、ねじは掴んでおりますのでこの場でやっていけば、大きいものにたどり着く影響の大きいものにたどり着くとは考えているんですけれども、
0:32:27	その
0:32:29	細かいところまですべてフォローできているかっていうようなところも、今、調整官がおっしゃったような着、
0:32:37	部分も、疑問も出てくるかなというところの確認の意味として、
0:32:43	検討段階で、例えば、検討2レース等、例えばですけれども、今成伊井というものを対象にしておりますけれどもその他の
0:32:54	波源に関しても、
0:32:58	各地で4試験ありますけれども4地区に対して、同じような傾向が出るのかどうかというようなところを確認する。
0:33:07	今、たとえとしては検討2とかを出しましたけども各段階において、
0:33:14	その十分性の確認の意味合いで補足、ウーの分析等を示していこうかなと。
0:33:20	今考えているところでございます。ちょっと口頭でわかりづらいのですけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:26	基本条例は、
0:33:28	お願いします。すいません。
0:33:31	あ、すみません無理やり答えても、答えになっていない部分もちょっとあって、
0:33:37	ちょっとよく考えていただきたいなと思います。よく見ていただきたいのは、
0:33:44	コメント回答の本資料No。
0:33:47	例えば、
0:33:50	15 ページ。
0:33:54	地震に伴う津波の最大ケースを見た場合は、これは非常にほぼクリアで、
0:34:01	地形モデルにかかわらず、地点ごとに、もう波源はほぼ一定になっていると。
0:34:08	ということは波源とモデルに関しての相関性は、
0:34:13	ほとんどないと。
0:34:14	いうことは、
0:34:17	自明であると、ある程度はっきりしている地震に伴う津波の最大ケース。
0:34:21	それを踏まえて次の 16 ページを見ると、
0:34:31	これが多分原因にも直接関係するかもしれないんですけど、
0:34:37	ほぼ名乗り出いい。
0:34:41	ある程度ひっくり返ってしまうと評価が、
0:34:47	それで6-D6-D南へ20キロのケースと、7-Dのケースですね。
0:34:55	このケースがほぼほとんど占めていて、
0:35:00	そういう意味では、ある程度、モデルウーそのものに対して、
0:35:07	モデルごとにす、そんなに大きな違いは多分ないんじゃないかと。
0:35:14	いうふうには全体の傾向としては見てとれると。
0:35:17	だから相関性はあんまり気にしなくてもいいんだけどちょっと注意が必要なのは、
0:35:22	一番右側の列能モデルさんに関しては、
0:35:27	少し左側と違っているのは、断層上縁断層面上縁深さが、
0:35:33	左側の方はほとんど5キロで占められてるいるものが、③になる等、少し浅いものちょっと浅いものも入ってきていて、
0:35:43	講師もしかしたら軽微な相関があるかもしれないけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:48	基本的な波源、
0:35:51	のモデルに関してはほぼ一定でただイレギュラーなものがちょっと挟まっていると言う事ななっているので、そういう意味で、こういった傾向を説明すれば、
0:36:02	相関性については説明できる、ある一定程度の相関性は説明できるんだけど、ちょっと注意しないといけないのは、放水こう上昇側は4点ともう四つのモデルでもほぼ同じぐらいの高さなんだけど右側のところにちょっと違う傾向。
0:36:20	ブロックのd e北へ10キロっていうパターンが入ってきてるんで、実はこれが少し特異点的な波源なので、こういったものについてちょっと注意が必要ですねと。
0:36:32	ということになると思います。だからすいません。
0:36:37	そういう意味で今まで獲られているデータで、相関性についてはある程度実は説明できていて、ただしそこで説明でき、でき、しきれない例外もちょっとあるので、それについてはちゃんと、
0:36:50	後からチェック入れるなり、必要に応じてチェックすればいいのかなと思いますけど、ちょっとそういったところをですねちゃんと説明してもらえれば私は理解できるかなと思っていました。
0:37:01	いかがでしょうか。
0:37:16	北海道電力オクデラビス少々お待ちください。
0:37:54	この北海道電力の青木です。
0:37:58	安全、
0:38:00	点目で、断層面上、衛藤。
0:38:03	防波堤の損傷高齢者地形モデル③のところで、
0:38:07	このケースと比較すると、6万D南20で断層面上縁深さ4キロメートル、
0:38:13	そのものが選ばれているというところなんですけど、こちらについては、
0:38:18	15ページの件、
0:38:22	地震に伴う津波の最大ケースとして選ばれた波源が、
0:38:26	断層の条約と5キロではなくて4キロが選ばれているというところに引っ張られて、
0:38:32	組み合わせの方でも4キロの結果が出て、最大ケースとして選ばれているっていうところが事実になってございます。
0:38:40	またOKというような話で、ピンク色の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:45	江藤 6 の D 北永住の波源について、
0:38:49	防波堤村社③だと、5 キロメートルの結果が出ているというところなんですけどこちらについても、
0:38:55	15 ページのところ、6-D 北永住というもので、
0:39:00	層面略さ 5 キロのものを選定されているケースが、
0:39:04	③地形でのみ 5 キロのケースが選定されておりまして、この結果に引っ張られて 16 ページの方でも、この最大ケースが出ているというところが事実でございます。
0:39:16	当間ここら辺のところのような、
0:39:19	傾向が違うとかそういったところの、
0:39:22	減とか地形モデルの相関について、
0:39:26	わかるような形で、今後、
0:39:28	資料化していきたいと考えております以上です。
0:39:37	特異点的なものって言ったのは、
0:39:41	ちょっと後でまた、
0:39:44	研究するかもしれないですけどこれはハケをよく見た方がいいと思いました。
0:39:49	ただ単に、地震単独での子、出ているものがゆっくり変わらなかっただけですっていう説明。
0:39:56	ではなくて、
0:39:58	ハケをちゃんと見て、これは、
0:40:01	今後よく考えた方がいいんじゃないかなと思いました。
0:40:05	私が言いたかったのは、全体の傾向は 15 ページ 6 ページとかこういうところに、
0:40:13	説明できる要素はありますよと言っただけなのでそのところはちょっとよく考えて、
0:40:21	いただきたいと思えます。
0:40:25	組み合わせの順序とかそういったところが影響しないって、安全上影響がないということの、ある程度定性的な説明はちゃんと加えていただかないと、
0:40:37	このやり方本当に大丈夫ですかって。
0:40:40	いや例外はあるんでそれはちゃんと後からやりますと言われても、まずある程度定性的にこの方法が妥当なんですっていうところをちゃんと説明をしないと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:53	おそらく、議論は収束しないんじゃないかなと思います。
0:40:58	この辺はちょっとよく考えていただきたいと思います以上です。
0:41:01	谷さんすいません時間かけて申し訳ない。いえ。
0:41:05	はい。続けて私の方ちょっとですね、やっぱりこの3ページっていうのは大事なページで、何か次の四角囲みで、検討1から検討3の組み合わせ対象波源の妥当性って言って初めて、
0:41:17	検討順序っていうのを説明してるんですけど、何か説明が、ぱっと読んでも漠然とし過ぎててよくわからなくて、
0:41:26	何をこう言いたいのかっていうのが何かこういうふうの方針でやるって言うだけで、
0:41:34	何て言うのかなというのをちょっとお考えなので、やってることと、
0:41:39	関連して考えると、北海道電力の方としては、
0:41:45	検討⑤っていうのがとにかく最後をやる、
0:41:48	検討⑤っていうのをやるんですよと、検討のある方っていうのは県を、
0:41:53	現地を移動させたりしてですね、組み合わせて重なるタイミングを変えて、大きいものがないな、出てこないのかっていうのを確認してみるような検討なんですよ。
0:42:04	そういったことを、最終的にするんだけど、その
0:42:10	そのために、途中こう分析が必要ですが検討が必要ですよっていうようなことをしてて、こういった分析をきちんと行うことですね、
0:42:19	この検討、⑤、
0:42:22	大きくなるケースを選定することができるっていうふうに考えてるわけですよ。何かその辺の説明が、何かよく
0:42:32	わからなくて検討ごとの関係がよくわからないと。
0:42:36	で、それで、検討5をやる上で必要なものとして検討1から検討、3っていうのがまずあって、その検討3、検討①から③というのはこういう理由でやっているんですよっていうのがですね。
0:42:52	何か、
0:42:53	あれば、流れて理解できそうな気がするんですけども。
0:42:58	今これ書いてるのはちょっとわかりにくいなっていうふうに思っている。
0:43:04	で、あとは、例えば検討1では何がわかっているのか検討2では何がわかっているのかとか、そういったことも織りまぜて何か全体の論理構成っていうのはですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:15	作ってもらわないと。
0:43:18	作ってもらわないとって作っていただいた方がいいっていう話なんですけれども、要するに連続性がよくわからないんですね。
0:43:25	検討1で何がわかったかっていうこととしては、何か東縁部一―波と2は、それと川白の一般の重なりを検討すれば、十分であるってこう北海道電力考えたんですよね。そこの
0:43:40	どうしてそれで十分であるかっていうのか。
0:43:43	示されて、示されるようなことが説明されたらいいし、全体の論理構成っていうことで言うと、この検討1をやったことによって、ケース分けが生じるんですよね。
0:43:56	そういったことも何か説明して、
0:43:59	全体の論理構成を説明するんだったらそういった説明も要るんじゃないかなって思っていますんで、検討にっていうのは、何か今回北海道電力複数の地形モデルを設定してるんだけど、
0:44:13	すべての県地形モデルで検討する必要がない。
0:44:18	て考えてるんですよね。そこを何かちゃんと説明したらいいんじゃないですかね。それ本編資料で何かたどっていくとそういうことが言いたいのかなって思ってるんで、
0:44:30	ちょっとそういうことなんですかねっていうの確認も込めて、聞いているんですけど。
0:44:35	ちょっと話変わりますけど、例えばの話でそういう話をしました、さっき検討についてまた追加分析もやっていますみたいな話をしたんですけど、
0:44:45	何かもうある、その時間かけてやるようなものじゃなくても、今説明できているもの、まず公論論理構成しっかりと説明して欲しいんですけど。
0:44:56	何か分析、今やってるんですか。
0:45:05	北海道電力奥寺です。
0:45:08	でやってもう、あの結果大体見えてるようなところはあります今、さっき私が言ったようなところはですね、アジアなんか特にこう思い解析をやったりしてるわけじゃなくって、説明を補足して説明できるようなものをちょっとう、
0:45:23	追加して整理してるっていう、そういうことをやってるっていうことでもいいんですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:29	北海道電力奥寺でございます。そのような理解で結構でございます。わかりました。ちょっと分析という言葉に引きずられて、そういったことを思ったんですけど。
0:45:40	多分このA、やっぱりこのページに必要な検討に係る検討3というのはどういうふうに考えて必要と思ってるんですよっていうのをですねちゃんと説明してもらおう。
0:45:50	必要が、
0:45:51	してもらったらわかりやすくなるのかもしれないなということで、
0:45:55	聞いたんですけども。
0:45:58	北海道電力の矢田手順というのはそういうことでもいいんですかね。
0:46:04	北海道電力、奥寺でございます。ちょっとですね、
0:46:09	の事実確認のところで、
0:46:12	確認といいますか、今、
0:46:15	私らが書いているこの3ページの部分っていうのは、
0:46:20	いうことを、どういう手順でやって、どうしてそうやってるかっていうところは我々なりに書いている医師キーでございます。
0:46:30	今、保護者の事実確認の中で、結果がどうであったとかっていうところを、
0:46:38	入れ込まないとわかりづらっていうようなふうに聞こえたんですけども、ここに今、我々の説明したい事項っていうのはこっちのこういう理由でやっていきますよっていう説明事項考えていたので、
0:46:51	これをやった結果っていうところをまだ書き込まれていないような状態なんですけれども、
0:46:57	先にもう結果を書いてしまった方が、結果結果で、どこかでまとめるんですけれども、
0:47:06	この中、全体の
0:47:09	方針のところで説明した方がいいというような意味合い。すみません。言うでしょうか。どっちでもいい、どっちでもいいんです。方針方針でやってもらってもいいです。ただ僕は4ページで、
0:47:22	何かここで書いてあるの4ページで書いてるのは、検討4、④だけ何かの検討結果も踏まえて、
0:47:30	何かやってるような気がしたんですけどそんなことはないんですけん、これ。これ、4ページは、
0:47:38	検討④のまさに結果じゃなかったんですか。違うんです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:45	北海道電力の相木です。4 ページの中央の表のところにつきまして、左側の、
0:47:53	地震に伴う津波のパラスター結果についてもすでにある結果から導いているものになります。一方、右の検討⑤の検討方針については
0:48:03	本当全部結果を踏まえて書いてるように見えてるところもあるんですがここはやらずともは現地ずらせば一層外れるっていうところはわかっていたところでありますんでその方針について書いてるところです。
0:48:16	一方下段の架空のところには、ちょっと答えがないと説明しきれないところもあるんでここについては結果を踏まえて書いてるところ。
0:48:25	こういうふうにご考えてございます。説明以上です。はい、谷です。だからね僕もちょっと思ったんだけど、結果も踏まえて書くんだったら結果も踏まえて書いたらいいし、別で書くんだったら別で書いてもいいんだけど、
0:48:38	何かこうパッと見て私は4 ページが、
0:48:41	結果が入ってるのかとちょっと思ったので、
0:48:44	こういった言い方をしちゃったんですけどこれ、あれですか自明のことだと、最初からそう思っ
0:48:51	たって事故、
0:48:53	そうですね。うん。
0:48:59	起こりますと、
0:49:02	わかりました。じゃあ何かこの
0:49:06	4 ページのような
0:49:08	何か、
0:49:10	感覚で、
0:49:12	検討1 から3 っていうのは書けないんですか。
0:49:15	もうお任せします私言ってるのがちょっと。
0:49:18	資料読み間違ってたのかもしれないので、
0:49:22	だから方針としては、なんで、なんで検討1 から検討3 っていうのをやってるのかっていうのが、もう少しよくわかるようにして欲しいっていうのが言いたかったことです。
0:49:35	北海道電力奥寺でございます。
0:49:38	ですね。
0:49:42	ちょっとです。
0:49:43	去るIV4 の書きぶりが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:47	わかりづらい後全体構成として、結果も踏まえて、
0:49:54	方針といいますかこの手順に関する妥当性みたいなものもあった方が、
0:49:59	わかりいいのか、その辺の議論だったと思いますので、今の、我々がやりたいこと言いたいことってというのは、儀間の事実確認を踏まえて、わかりやすくなるように、
0:50:13	少し検討してみたいと思います。
0:50:16	以上です。
0:50:20	はい。
0:50:34	あと4ページがですね私この四角学校、下の四角囲みですけども、
0:50:46	これはそっかそれけこれは結果も含めて書いてるのか。
0:50:53	改良電力クーラーです。こちらって方針としてはその赤囲みっていうのは、
0:50:59	もしかしたら方針ということではないのかもしれないんですけども、結果して最後、これはこういうことも確認したっていうのは我々としては進めていったときに、
0:51:11	出てくる話ですので、
0:51:13	そういう意味で、
0:51:15	最後まで読まないとわからんのかっていうようなところではここに入れといた方がいいのかなというところも、
0:51:22	こういう書きの方がわかりいいのかなと思まして今入れているような、資料になってございます。補足です。そうです。わかりやすくしてくれてるんだったらそれで、
0:51:33	いいと思うんですけども。
0:51:35	ただねなんかね文章がわからなかったんですよこれ。
0:51:44	検討後、一つ目の丸、6のD E 20は概ね水位変動量が大きくなる断層パラメーターです。
0:51:54	これ何を言いたいんですっけ、この一つ目の丸と。
0:51:59	二つ目の、
0:52:02	困る。
0:52:04	んな、何を言いな。もうちょっと簡潔に言うと何を言いたいんですか。
0:52:20	北海道電力の青木です。整理の概要版というところで、うちに伴う津波の最大ケースのケース1から20というものをもとに、検討1から3でやったそのケースから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:34	検討の対象決算を抜き出しているんですけど、それがどうして妥当なのかというところを、ここで改めて、
0:52:41	記載を追記しております、この6まで南20っていうケースについては基本的に水辺ルールが大きくなる断層パラメーターというもので構成されているというところを一つ目の丸で書いております。
0:52:54	二つ目の丸については、薄井変動が大きくなる断層パラメーターっていうのは、国に対しても、水位変動が大きいのよっていうところを改めて確認した結果としてわかったのだからそこを書いてるというところになります。
0:53:09	藤。
0:53:11	こちらで伝わってますでしょうか以上です。
0:53:15	なんかこうあえてここにすごい何か意味ありげなことを書いてるんですけどこれって、そもそもこの①から⑳って、
0:53:25	水位変動量が大きくなる断層パラメーターだったから、
0:53:29	そもそも残ってるっていう、
0:53:32	うので考えると、何でここに書かれ、
0:53:38	ただ単に、
0:53:41	総務熱水ん。
0:53:44	そんな深い意味ないんですかね、これ。
0:53:46	これ、ここにこうやって書くっていうことが、
0:53:55	何なのかよくわかんなかったんです。
0:54:00	北海道電力奥寺でございます。
0:54:05	がですね混乱させろ以外で追記しているわけではございませんので、ちょっと表現等、
0:54:15	全体論を説明する上で、わかりやすいをする観点から
0:54:22	お茶カクウより、
0:54:24	今、
0:54:25	書いたらいいのか含めてちょっと検討いたします。
0:54:29	かえってわかりづらくなってるような今のやりとりを、私なりに踏まえると、はい、わかりづらくしてしまってるのかなと思いました。はい。必要なことは書いてもらったらいいいんですけどちょっとわかりやすく書いてくださいっていうことと、
0:54:44	あと三つ目の丸ってあれですよ。
0:54:47	この7でいいって。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:49	概ね水位変動量が大きくなる断層パラメーターですって言うのは、
0:54:56	これ私こないだのヒアリングでちょっと聞いたこともあるのかもしれないですけど、これ、
0:55:02	下降側の最大である7Dっていうのは、上昇側で見てもっていう、そういう意味で書かれているんですか、そそうじゃないんですかこれは。
0:55:16	北海道電力の青木です。今の例については地震津波の最大ケースとして下降側の位置付けなんですけれども、その中身、断層パラメータを個別で確認していただければ、
0:55:29	上昇側についても厳しくなる波源というところが確認できたというところを、ここでは書いてみたかったところでございます。以上です。
0:55:38	はい。そうですねこれ多分上昇側のっていうのがタイトルであるからそう読んでもいいのかもしれないんですけどこれなんかとてもわかりにくくて。そうであるんだったらやっぱり上昇側、
0:55:51	の観点で見ても水位変動量が大きい。
0:55:57	ケースであるっていうことを端的に書いてもらってるなと思うんですけど。
0:56:07	他のレベルです。今の記載よりちょっとわかりづらいところあるかと思えますので、過去の最大ケースと並んでいっていうところは上昇側に対しても大きいものだっていうところは明確になるように、
0:56:20	記載の適正化を考えたいと思います。以上です。
0:56:27	はい。
0:56:29	私の方はですね、ちょっと何か細かい話も入れちゃったからわかりにくくなったかもしれないですけど三、四ページ。これももう少しページふやしてもいいので
0:56:39	どう考えてこうやってるのかっていうのを、しっかりとこう書いてくださいと。で、なおかつ
0:56:46	何かこう、
0:56:49	どうして。
0:56:51	こう考えているのかっていうのが、何かこう、わかりにくいんですね。
0:56:59	何すんだかそのパラメータが選定できると考えられるとかいうのが、
0:57:03	いまいわからなくなってるっていうのを、もう少し説明を加えていただけたらなというふうに思っています。で、これ、
0:57:14	ちょっとこの、
0:57:16	この部分はまた引き続き確認したいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:14	お願いします。
0:58:22	名倉です。
0:58:26	前回ヒアリングから今回ヒアリングまで、ある程度期間があったので私自身は、5.7章以降のところを中心に、
0:58:36	ある程度日数をかけて、中身を読まさせていただきました。
0:58:42	それで、
0:58:43	大分理解が進んで、
0:58:47	非常にわかりにくかったんですけども、
0:58:50	事業者が必要と考えている内容はある程度、やって、一つの体系は作ってるのかなというふうに一応認識はしたんですけども、
0:59:03	これが十分かどうかという観点で見たときにいろいろと、
0:59:07	疑問点というものがいろいろ出てきているというのが今の現状です。
0:59:12	それ説明上、ちゃんと事業者の方で努力を尽くしていただきたいのは、
0:59:20	全体像。
0:59:23	もうちゃんと見えるようにして欲しいと、全体像といった時にまず、
0:59:28	事業者の方針、考えとして、
0:59:31	この方法が妥当なんですよと。
0:59:35	というところの考えも含めて考えと根拠も含めて、
0:59:39	全体像をまず示した上で、
0:59:43	結果の概要として、
0:59:47	全体を示して欲しい。
0:59:49	この二つのことが、実は俯瞰できる、全体を俯瞰できる部分がなかなかないので、私たちもうこれを理解するのは時間がかかってるっていうのもそこにあると思うんですけど。
1:00:02	他の者に説明するときに、かなり苦労するだろうと、多分1回ば処理と切り捨てられる可能性は内部的にもあるので、
1:00:10	ちょっと事業者自身、
1:00:13	やったことの羅列ではやっぱりなくて、
1:00:16	方針考え、
1:00:17	というものをちゃんと一連のものとして、
1:00:20	やったことを並べて書くのではなくて、考えとして一連のものとして妥当なものだということの考えを整理して欲しい。
1:00:28	と思います。まずまずはこれが第一歩だと思うんですけど、
1:00:32	そう見たときにちょっともったいないなと思ったのは本編資料の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:36	171089 辺り、
1:00:39	ここら辺が方針と結果をある程度書いてるところなんだけれども、途中の結果が 18 ページとかほとんどなくて、
1:00:49	一体じゃあ何やってるのかなあと。
1:00:53	矢印のところとか、
1:00:55	そこら辺が下の枠のところに結果を少し書いてあるんだけど、どういう考察、分析をした上で選定しているのか、何をやってるのか。
1:01:05	というところが、ちょっと見えにくいかなというふうにちょっと思いましたんで、ここら辺ちょっとまず方針等、
1:01:15	方法考え方っていうところをちゃんと、
1:01:18	一連のものとして整理していただいてそこに、
1:01:21	結果を当てはめたときにどういうふうに全体が構成されるのか。
1:01:27	というところの組み立てをですね、ある程度全体像が見えるように整理していただきたいなあと。これをやっていただかないと、おそらく、
1:01:38	説明が成立しない可能性がちょっとあるなというふうにちょっと思いましたんでこれちょっと努力していただけますでしょうか。
1:01:49	これ電力オクデラでございます。
1:01:54	やっぱり今まで、
1:01:57	調整官、谷井さんが言ったことを、を集合すると今の、
1:02:03	方針。
1:02:05	その考え方、
1:02:07	結果、そういったものから考察と。
1:02:12	そういうものが全体像としてパッケージとして見えないと、全体がいいのか良いのかわかんない、というような私のプラットした大きい理解ですけどもそういうものが、
1:02:24	わかりやすくなるように、
1:02:26	少し今事実確認を踏まえてですね。
1:02:30	再々検討したいと思います。以上です。
1:02:42	ちょっと続けて確認なんですけれども、
1:02:45	7 ページに、
1:02:49	これは形を
1:02:52	地震に伴う津波とか、陸上地すべり川白って言ってやってるんですけど、これね、ここだけ何か条件が入ってないですよねの、このどういう条件なのかで、次のページ見ると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:03	これは3号炉取水症の話をしてるんだらうなって。
1:03:09	取水取水口前面の代表点なのかなって思ったんですけどこれちょっとよく私混乱してるんですけど。
1:03:18	えっとね、これ。
1:03:20	本編の8。
1:03:22	本編の22ページとかで、
1:03:26	もう同じ3号炉取水口前面の代表点から抽出したは形があるんですけども、
1:03:34	この川白の地すべりって、
1:03:37	一緒なんですかこの八級って。
1:03:42	おんなじ3号炉取水口なんだけど、はけ違うんですか。
1:03:49	北海道電力の青木です。まず、これがどのケースかっていうところの記載がないところについて、申し訳ございません。説明しますと、大津以降のは形を例示しておりまして、
1:04:05	よく説明資料で言うところの71ページの、
1:04:08	6まで南出のケース1のは形だと考えております。
1:04:13	なぜこのハウスイ高野は境界たかというところで、理由付けというところで第4のはのピークが大きくなるものっていうところで、
1:04:21	杉高野は形が出ておりまして説明に合致するものっていうところでこちらの方遂行の八卦記載してございます。ちょっとこの考え方は、資料上全く見えてないところがあるので、わかるような形で修正させていただきます。
1:04:36	以上です。
1:04:39	大谷不破8ページ違うんですけどこの水位時刻歴はKは3号炉取水口前面の代表点から抽出しているっていうのは、
1:04:50	東プレミックアオキですちょっともう少し説明させていただきます。この7ページについては、放水高野は系、
1:04:59	なりまして、
1:05:02	この8ページについては、追加解析結果があるものっていうところで、例示として3号取水口のは計記載してございます。こちらについて放水高でも同じようなことをいえるかと思いますのでこの辺りは、
1:05:16	関連性わかるように統一化したいと考えております。以上です。
1:05:30	谷です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:36	これ、22 ページと違う理由は地形係数が違うってこと。8 ページと、本編の 22 ページが違うっていうのは、
1:06:04	例えば、
1:06:07	あんまり、
1:06:08	北海道電力のアオキですちょっと 7 ページ 8 ページを連続した資料で見ると、一貫性ではないので、その観点から言いたいことがわかりやすくなるように係数の、
1:06:19	効率性を図りたいと考えております。今書いてるケースについてはちょっとケースとか評価地点一致してないので、
1:06:27	混乱してしまってるところがございますのでそこは解決できるように、
1:06:32	大地適正化を図りたいと考えております。以上です。
1:06:39	しつこくてすみません。
1:06:41	本編の 22 ページに、
1:06:44	これは 3 号炉取水口前面の代表点っていうことで書いてあるんだけど、
1:06:50	これと、
1:06:51	追加資料の 8 ページは、違う。
1:06:55	違うケースなんですか。
1:07:02	北海道電力の青木です。こちら違うケースとなります。
1:07:10	地形が違うってことですかね。
1:07:27	北海道電力の青木です。違うケース書いておりますので、
1:07:32	当間ケースわかるように、規制がかかっていきます。以上です。
1:07:42	は、わかるようにしてください。
1:07:56	ついでに聞くとね、ついでに聞くと、
1:08:04	22 ページは、検討例ケース①って書いてるってことは、
1:08:10	ケース①っていうことは、健全地形モデル。
1:08:19	が、次、これ。
1:08:21	東縁部のは形は健全地形モデルで書いてるんだけど、
1:08:26	陸上地すべりのこれはケース 1 っていうことはつまり健全地形なんだっていう話なんですね。
1:08:37	北海道電力のアオキです 22 ページについてはケース 1 のものについては、全部地形モデルも整合させて健全地形モデルで記載してございます。
1:08:47	江藤亜美さんの認識通りでございます。起こりましたと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:52	ちょっとその辺気をつけてって見ていくけど例えば 23 ページになったら、
1:08:57	これ
1:09:01	わかんなくなるんですよ。多分、ちょっとさっき青木さんも言いましたけど条件だけは、各でわかるように、
1:09:12	残してください。
1:09:17	北海道電力青木です。記載しているケースの条件わかるように、資料全体修正かけていこうと考えております以上です。
1:09:53	すいません。
1:10:05	はい、谷です。ちょっとこの簡単な、
1:10:08	リリース確認とかをしていきたいと思います。本件資料の方で聞きたいんですけども、
1:10:19	えっとですね。
1:10:20	今更ながらっていう話ですけど、
1:10:26	B C シリーズってというのは、
1:10:30	B C シリーズ A シリーズと B C シリーズってというのが、
1:10:34	今あるんですけど、B C の説明ではですね。
1:10:38	これなんか検討②のところ、
1:10:42	で、
1:10:43	これ地形モデルの話をするときに、
1:10:49	東縁部津波の話も一つ、かわしらの話もしてるんですよ。
1:10:57	何ページだと。
1:11:03	でそれに対して、検討②ってというのは、
1:11:07	東縁部の話しかしてないじゃないですか、地形モデルをこう話をするときに、
1:11:13	それって何でなんでしたっけ。
1:11:19	北海道電力の青木です。まず、円のについて、組み合わせの結果を使って整理してございます。
1:11:29	この考え方の意図としましては、実際に地震津波の第 2 版のピークと川白に P E E K 重なった波源で比較することによって、
1:11:40	最も適切な地形モデル一番厳しくなる地形モデルが選べるという考え方のもと、こちらは整理しているところになります。一方 B C C レイズの、
1:11:52	142 ページとかのものについては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:56	第1泊1%、当然両方重なったケースっていうところがこの検討のの時点ではまだないものを、
1:12:06	になっておりまして、ここが一んでは、組み合わせ結果がない中で、こういったところで地形モデルを説明するかっていうところで、地震津波の単独と、
1:12:18	頭の単独のそれぞれの結果を総合的に見て一番厳しくなるであろう地形モデルを絞り込んでいるというところの説明になります。
1:12:28	当間簡潔に言いますと、142の検討2のB C C図だと、組み合わせで一発いっぱい重なったケースがないからというところになります。以上です。
1:13:12	はい、谷です。
1:13:14	それってあれなんですか。なんか読んでいけばわかるんですか。
1:13:19	僕ちょっと今説明聞いても何かいまいよくわからなかったんですけども。
1:13:24	どっか書いてあるんですそれ。
1:13:38	北海道電力安芸です。先ほど私が口頭で説明した内容、Dのシリーズについては、見合わせた計数を代表は元になっているというところを、
1:13:49	書いておりまして、NBCシリーズのところそこまで言及できてないのでその辺りわかるように資料化して落とし込みたいと考えております。以上です。
1:14:01	はいちょっと説明わからなかったのでまたせ資料見て、考えてみます。
1:14:14	でですね、
1:14:16	ちょっとこれ、ここっから前回、前回のヒアリングで、時間切れで僕もよくわからんまま終わってるところを、また改めて確認していきたいと思うんですけども、
1:14:27	検討①ってというのが、
1:14:29	110ページにありますね。
1:14:35	110ページ。
1:14:38	僕は前も言ったんですけども前も言ったと前もちらっと確認したんですけども、
1:14:43	これって、一発2は、
1:14:48	その着目するんだよってという宣言があるんだけど、
1:14:56	例えば110ページを見てると、
1:15:00	110ページ見ると今の理屈で言うと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:05	110 ページのこの津波の第 2 は、が遅れてきて、
1:15:11	で、
1:15:12	川白の 2 羽と重なるとか、
1:15:16	そういうことを考えなくていいっていう理由って何か、ここで読めるんですっけ。
1:15:52	他力のアオキです。
1:15:54	ちょっと具体的な例で言います。
1:15:59	110 ページの川白の 1 日目だけで言及していると。
1:16:04	地震に伴う津波が川白より前にあるものは第 1 柱の第一波より後ろにあるのが第 2 は、になってきます。そう考えていく、地震津波の第 1、
1:16:16	遅れることによって川白一般と重なる可能性がある。
1:16:20	逆に言うと、地震津波の第 2 版については早くなると、川白の 1 番目と重なる可能性がある。
1:16:27	いうところだと思ってるんですけど、そういったところが資料上書いてあるかというところの確認でしょう。例えば、もう何か言ったらきりがないんですけど川白の 2 はと。
1:16:43	川白のにはね、それと、
1:16:46	110 ページの地震の 2 は、これがこう重ねるようなことは考えなくていいっていう。
1:16:53	ことなんだと思うんですけども、それってどう、どうとったら、
1:16:57	そういう考えになるんですっけっていう。
1:17:01	確認です。
1:17:09	東北電力の青木です。
1:17:11	御分し Lower ですと、結果として、川白の地震津波の一般に着目するっていうところを宣言してるところでございます。その中でそれ以外のピークについて言及してなかったところでして、
1:17:26	その辺りを追加説明できるように、今回提出しました追加説明事項の方で、若干補足しております。
1:17:33	その中のなっ数字のところ、検討①の補足の 2 分の 1 のページなんですけれども、
1:17:41	基本条件としてはもうこの地震津波の一般にはっていうところに着目しますというところを書いておりました、これ以外のピークが重なって大きくなる可能性については、
1:17:52	紫の箱書きのところを参照というところへ掲載してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:58	こちら後になってますでしょうか。以上です。
1:18:02	うん。
1:18:04	何か極端な 4%のお話をされても、何かいまいちコピーできてないって いうだけのことなんですけれども。
1:18:14	これこれね確か 7 ページね最もらしくねこの地形条件の、この地形条件 でいったら第 2 は、川白の第 2 はて来たってないんですよ。
1:18:24	で、まあまあそうこれを見るとですね何かあんまりこう、
1:18:28	川白の第 2 は何か考えなくていいんだらうなってこう思ってたんですけども、
1:18:33	何か 110 ページとかを見るとあれなんか川白この地形モデルによって は、
1:18:38	こういうこともあるな。
1:18:40	て思ってることに対して、
1:18:43	どう説明されるのかなってというのがわからなくて聞いてるんですけども、 これでもただですね全部が全部のデータを見てもしょうがない話 で、北海道電力としてコード、どう考えてるんですかっていうのが、
1:18:56	何かわかるような資料にしてくださいって前回のヒアリングでも言いま したけど、
1:19:03	ちょっと何か、7 ページを見ても、7 ページってのは追加資料の 7 ペー ジですねこれを見ても何か、
1:19:13	うん。
1:19:15	ここだけ補足されてもなっているのをちょっと感じて、そういう質問を しています。
1:19:32	遅れ分アオキです。追加説明書から 7 ページだと、
1:19:37	4 はお礼にも書いてるところでそれ以外の 2 羽とか 3 班に関する考え方 ってところがまだ読みきれないというところの確認事項かと思いま すのでその考え方はわかるように、
1:19:48	指導はしていきたいと考えております。以上です。はい、井谷です。だ から僕は細かいですね、この検討分析結果に基づいて細かいこういう場 合はこうなるとかそういうの説明を求めているわけじゃなくて、
1:20:00	今北海道電力として最終的にこの
1:20:04	何。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:08	！！地震津波の一般にはっていうのを着目しますよっていう、この考えのその背景っていうのをちゃんと資料上わかるようにしてくださいってというようなことを言ってるので、
1:20:20	今の考えをちゃんと書いてください。
1:20:27	アオキです。考え方について資料レベルが読み取れるように、
1:20:33	修正いたします。以上です。
1:20:35	はい。あとねこれ、ちょっと
1:20:41	検討2か次の検討2でね。
1:20:44	やっぱりこうなんか、
1:20:46	前もこのなんか、
1:20:48	小評価項目っていうのを、3号炉取水口と12号炉取水口及び放水高にしますっていう話なんですけれども、
1:20:58	これ敷地前面ってというのが、
1:21:01	ここから抜けていることについて、多分この前段の
1:21:05	話で入ってるんだと思うんですけれども、
1:21:09	多分ですね、これ、
1:21:11	かなり過ぎてて、
1:21:14	よくわかんないんですねこんな何でここに道庁で前面が入ってこないのかとかですね、その辺の説明が不親切かなって思ってて、
1:21:27	これ何ページ、102で説明、102ページで説明してんですかね。
1:21:32	もう1回ちゃんとこれを書いて欲しいですねここにも。
1:22:02	その他で僕らんケースをちょっと前資料全体のものとして、包丁で前面の考え方が、1度説明したきりになってるのでその辺りわかるような形で、
1:22:14	わかりやすくなるように、適正化を図りたいと考えております以上です。
1:22:20	はい、お願いします。
1:22:23	あとはね
1:22:29	ちょっと128ページで、
1:22:51	これって、やられてることは、今までヒアリングで聞いてきて、
1:22:57	大体理解してるつもりなんですけれども、
1:23:03	これ6Dっていうのを、
1:23:06	前の検討3で選んで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:10	それをベースにいろいろちょっとこう、このパラメータスタディの因子を変えてみても、
1:23:18	やっぱりそれを超えるような、
1:23:22	影響が大きくなりそうな、
1:23:25	要するに波源をずらしたときに波源波源を移動させたときに、大きくなりそうな、
1:23:32	ものは、
1:23:34	ないんですよっていうような説明かと思うんですけども、何でこの128 ページで、
1:23:41	断層パターン6食うをベースに、7のものを見ましたと、7DEを見たんですよねこれって。
1:23:50	まずこれ、
1:23:52	6、Dと7Dを比べてるっていうD確認さしてください。
1:24:00	他の電力のアオキです。
1:24:02	谷さんのおっしゃってる通りこちら断層パターン6と7の比較については、サポーター6-0鳥羽様玉野飯尾。
1:24:11	それぞれ比較しております。ちょっと断層パターン以外の情報はどうなってるかというところ読みきれないところかと考えております。以上です。
1:24:20	いやそれは多分そうなんだろうなってわかるんでいいんですけど、これって何で7Dって、
1:24:31	123 ページで、重なるときにはこのピークが小さなピークが立ったから、河白戸高重なって、
1:24:39	大きくなったわけですよ。
1:24:41	重なる位置にピークが出てたんですよ7Dっていう波源自体は、
1:24:48	んですけどこれでこう比べると、何でこれは出てこないんですか。
1:25:03	藤ほかで力の暗記です。
1:25:05	こちらの比較条件というところで、断層パターンの、
1:25:10	斜面地としては、矩形モデルのままの位置ではっきり書いてるものでして、
1:25:19	地震津波の審査の中で断層パターン等についても、
1:25:24	日本海東縁部の範囲と言ってるところの、東さんの方まで網羅できるように移動させておりますので、その移動させる過程の中で、
1:25:33	私らと重なるタイミングまで来たというところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:37	なっております。以上です。
1:25:45	だから、
1:25:50	ないですか 123 ページの、
1:25:57	7Dケース⑧っていうのは、
1:26:01	もうはげを寄せているようなやつなので、
1:26:06	ここの小さなピークっていうのは、128 ページでも、第 2 はとして見えてるこのピークが、
1:26:14	動いてるってことなんですか。
1:26:20	北海道電力の青木です谷さんがおっしゃってる通り、128 で第二課のピークが東に移動させると、河島の範囲まで入ってくるというところで、同じ認識と考えております以上です。
1:27:00	はい、谷です。何となくわかりました。6 はだからこれ以上寄らないから。
1:27:06	第 2 はが、
1:27:09	あれですか、
1:27:10	もっと近づくことはないっていうことを言いたいんですか。6 っていうのはもうよせないんでしたっけこれ東側には、
1:27:21	北海道電力の青木です。断層パターン 6 を最も東に移動させたケースっていうところが、検討⑤のケース。
1:27:31	というところになってましてそちらが、
1:27:35	ページで言いますと、
1:27:41	135 ページ辺りのところで、
1:27:46	断層パターン 6 の例って言ってたものを、K a k e h i モデルの変更してこうで一番、
1:27:52	阿部が近づいているものと考えております。
1:27:56	起こりました。はい。
1:27:59	それ 4 日なおこぐと寄せた方が、
1:28:02	7の方が圧倒的に東側によるから、
1:28:06	東側に寄せるところのピークが、
1:28:09	第 2 はっていうのがすごく速くなるってことなんですね。
1:28:17	そうしてるのがアオキですとそのように認識しております。
1:28:21	何かわかってきました。ありがとうございました。
1:29:13	あとはですね、ちょっとこれ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:16	概念的な話にちょっとなんは踏み込んでしまうのかもしれないんですけど、
1:29:24	シリーズ、
1:29:26	大きく A A シリーズで
1:29:32	第 2 はが早まること早まっても大きくなりませんよっていう、
1:29:39	説明ができたところで。
1:29:41	B C シリーズ D。
1:29:43	第一波が遅くなってもかさ、遅くなって、B、Bでは、
1:29:50	遅くなる分光波がこう小さくなるというトレードオフがあって、重なっても、最大になりませんよって C C では、
1:29:59	それぞれ重なると大きくなりますっていう A B C っていうのが、結果としてあるものが、それって 16 ページで言うと、
1:30:12	16 ページってこ、16 ページ。
1:30:17	A がどこを網羅してるのか、B がどこを網羅してるのか C がどこを網羅してるのかとかそういう関係っていうのは、
1:30:27	あるんですか。んないんですか。
1:30:29	この 16 ページの一覧表の中でですね。
1:30:50	北海道電力の青木です。ちょっと谷さんの確認事項きれてないところではありますが、
1:30:57	P D 力の保健所の最大ケースというところの、
1:31:02	天野根井というものについては、
1:31:07	来年頭の一般ていくと。
1:31:10	地震津波はピークが重なっているものなので、基本的に検討の A の考え方で、
1:31:18	重なったイメージになるかと思ってます。
1:31:23	一方、7-D 以外のものについては、ほぼピークとピークが重なったものではないというふうに考えておまして、
1:31:33	6 のデイリー何十、あるんですけどそれについては、地震単独の団地で大きかったんで、
1:31:42	7-D と比較して、南條が大きい置き換えられてるところでこの結果が出ていると、いうものなので、16 ページで言うところの緑のケースについては、ピークとピークが重なったものではないというふうに認識しております。
1:31:59	こちらで説明になっておりますでしょうか以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:04	この間に多分僕の質問も漠然としててあれなんですわね。
1:32:10	だからここで 16 ページ最大になっているものを、との対応としては、
1:32:22	例えばね、A A シリーズって、地形モデルさんでやったんでしたっけ地形モデルんなんたらでやったんですよね。
1:32:34	シリーズについては、総務省 01 の地形でやっております。
1:32:39	①か①、①で、
1:32:42	①のケースについて検討したんだけど、そこれを説明することによって地形モデル②にある。
1:32:50	7D だとか、地形モデル③にある 7D についても、これは同じことがいえるんだっていうのが北海道電力の考えてること。
1:33:22	東北電力の青木です。
1:33:25	確認趣旨としては、今①の地形モデルに対して、追加解析をやって、それについては、検討の結果と重なる結果が出てない。
1:33:38	朝田の結果にならなかったというところで、重なる結果にならないっていうところは、うちだって丸さんの地形とかにも、
1:33:48	結論が適用できるかっていうところを聞き、聞いているという趣旨でよかったですでしょうか。
1:33:54	はいそうですね端的に言うとそうです。
1:34:01	ほぼ帰れるとかアオキです。
1:34:04	018 期を対象に検討したのですが他の地形モデルに対しての重ならないという結果と考えております。以上です。
1:34:15	はい、わかりました。わかりましたというか、あれですよ。要するに検討②で選んでいるもの。
1:34:22	他の他のモデル。
1:34:25	もう、
1:34:26	説明できるんだっていうことを言ってるってことでしょうね。
1:34:31	それが、
1:34:38	それが何かこう本当にそういえるのかなっていうのが、私ちょっとコーンももう 1 回資料を見て、
1:34:45	考えてみますけど。
1:34:49	はい今の説明は、今の考えはわかりました。
1:34:54	それで 2 個クーラーです。
1:34:57	我々が考えているっていったところ、ことっていうのは、冒頭私がくどくど言っていたようなところも、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:05	補足の分析的なものを入れ込んでいこうということで今、現資料にそこまで書いていないということで、
1:35:13	これからそこをお示し、
1:35:17	補足しようかなと思っているところです。以上です。
1:35:22	はい、谷です。
1:35:24	はい。お願いします。全部を確認したっていうのが、菅、
1:35:31	考えですね。それで、結局これ5点。
1:35:36	5.7。
1:35:40	5.7章まで、
1:35:44	選定をした後に、
1:35:50	5.8章に行くんですけども、
1:35:54	これ、
1:35:55	何か1回この192ページまで進んだ後に、
1:36:01	あれなんですか、この16ページ。
1:36:09	けっきょく食う、そこまでやった後に北海道電力として各地形ケースで影響が大きいのはこれなんだと。
1:36:18	いう表っていうのは、ここに入れないわけなんですか。
1:36:24	何で入れないのかなっていう。
1:36:26	の確認させてください。
1:36:48	これ努力です。
1:36:51	ちょっと聞き、
1:36:52	なかったところがございます。申しわけないんですけども、もう一度192ページを、
1:36:58	ところとの関係の話なのかいただけるとありがたいです。
1:37:03	192ページまでやって、検討追加意見として追加派遣選びましたよっていうのがあって、
1:37:11	それが16ページの16ページであれですよ。同一波動場で津波解析結果の最大ケースの分類。
1:37:21	結果っていうふうにはやってるわけですけど、ここに入ってくるんじゃないのかなと思うんですねその追加して選んだものは、
1:37:30	それは、
1:37:33	結局全体としてどのケースで何かチャンピオンになってるかっていう整理は、ここではされないんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:53	北海道のアオキです。16 ページの地形モデル等評価地点の全部の関係性を示しています。分析になる前の最大ケースというところで整理したところです。分析やった後の最大ケースっていうところが25 ページ。
1:38:10	になっていて、ちょっと整理のフォーマットが16 ページと違っていて、
1:38:16	衛藤タニさんのおっしゃってるところについては16 名もノーマットのフォーマット。
1:38:22	25 ページの最大波源っていうところでは指名してないのかっていうそう いった確認でよかったですでしょうか。そうですねそれをやるのがおかしい のかどうなのかとか、
1:38:33	何でやらないのかなって思ったんです。
1:38:42	北海道電力の青木です。
1:38:46	次分析したものっていうのは検討にもうフェーズのところでは地形モデル 絞り込んでいて、
1:38:54	16 ページの物のフォーマットで更新した場合には、
1:38:59	このケースをやって、それが更新されたのかというところの情報はわかり づらくなるのかなというところで整理してないところです。例えば、
1:39:08	今の5 年の検討だと①に対しては更新してるしてないってところが わかると思うんですけど、②③に対して、そのケースやってないの に、
1:39:18	わかるのかっていうところがもうかえってわかりづらくなるのかなと思 って今は掲載してないというところになります。以上です。
1:39:28	はい、谷です。
1:39:29	あれですねただ他の入れ替わらないって説明なんですよね。何か その辺がね、ここを追加波源として選ぶことが、結局どこの評価時点で どうどこ、どれが変わるのかとかいうのがですね。
1:39:43	それだけでいい、いって説明なのかとかいう関係がわからなくて、
1:39:50	群列つまり最終的にここ、この地形モデルで、この評価点では、何 がチャンピオンになるのかっていうのが、
1:39:59	読み取れない。
1:40:03	ていうので、確認してて、それは、整理できるんだったら整理してもら ったらいかなと思います。
1:40:15	他電力の青木です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:17	ちょっとイメージというところで補足説明資料ご覧を
1:40:22	190 ページのところをお願いします。
1:40:31	こちら、後、一人称の最終的な一番最も厳しくなる波源っていうところについて、
1:40:39	この枠で示したものが最大ケースになるというところでこの対象外ってあるところのケースについて、雨するような形で、どうどう更新されたかわかるようにしたいと考えております。以上です。
1:40:53	はい、谷です。うん。
1:40:58	まさにだから 190 ページで、こういう書き方をすると。
1:41:05	これ、
1:41:07	他は説明できてないのかなとか思うわけですね私。
1:41:11	単純な単純な子。
1:41:15	見方をしてしまうとですね、何かそうではなくても他は入れかわるようなことがないんですってということかと思うので、そうであれば最終形はこれなんですって言って、
1:41:28	説明した上で、
1:41:31	そのあとに、
1:41:35	5.8 ですか。
1:41:38	敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定の話に移って、
1:41:42	もらう。
1:41:44	のが、その中であれですよこれは、最大の選定の方針の考え方ってわかんないんですけど、この間ヒアリングで、
1:41:52	確認したんですけど今これが追加されるのかどうなのかっていうのがあるんですけど、説明していただけるんだらうなというふうに思ってますので、
1:42:02	はい。
1:42:02	一旦、一旦だから 190 人までを取りまとめていただけたらなと思います。
1:42:13	北海道電力奥寺でございます。わかりました。
1:42:24	あとはですねちょっと時間もなくなってきた、
1:42:27	鷺見加古が終わって、結局これで今整理し中なんですかね
1:42:33	結局なんで、なんでこれでいいんですかっていうのは、
1:42:38	何か今考えてることがあれば、今だから、水位下降側って、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:48	こここんなことが起きた事象を説明はしてるんだけど、今の選定でいいですっていう考えは、何によるんでしょうか。
1:43:03	資料作成中で今小まだ答えられないんですっていうんだったら、
1:43:12	北海道電力のアオキですか、の考えについては、資料で書いているところで説明させていただきますと、
1:43:36	11 と、資料の 11 ページのところで、全体の検討フロー。
1:43:43	書いております。
1:43:47	その中で、右の側のフローは、加古川のフローになるんですけど、
1:43:53	本当は古川の特徴っていうところを最初に分析しても、里見さんのおっしゃってる事実関係で書いている、いうところに該当するかなと思ってます。
1:44:03	そういった中で、本当に最大波源選んでいるのかっていうところに関する回答として5円住所のところ、答えになると思ってます。
1:44:12	上昇側の特徴としてとか現一井とか磯ずらすと、
1:44:18	数字側水位が大きくなるっていう傾向が出てきて、見えてきたというところで下降側に対しても、磯ずらしたらもっと大きくなるケースあるんじゃないかっていうところが着眼点でして、
1:44:29	それについて確認したってところが5、10所の結果になります。
1:44:34	加古川については上昇側の特徴と違いまして、
1:44:38	ピックアップ重ねる必要はないのかなと考えてまして、移送についても、
1:44:44	フォワードCP、
1:44:47	小川のは系同士が頭と重なっているのもう現時点で最大のものが選べていると、というようなところが考えになります。
1:44:57	藤。
1:44:58	簡単に言いますとそういったところもうすでに、もともとの検討においても検討が妥当だということを説明している次第になります。以上です。
1:45:11	はい、谷です。
1:45:13	もうその辺の考えは全部入ってるってことですね。
1:45:16	よく確認するようにしますけどここで何か追加とかはされないんですけど。
1:45:30	北海道電力の奥寺でございます。追加の検討は考えておりません。
1:45:35	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:39	はい、誇りも 1、
1:45:45	検討方針。
1:45:47	今日あれですか、その追加説明事項の中では上昇側だけ書いてたような気がしたんだけど、
1:45:56	これ下降側についてはもう、198 ページとかで説明して、
1:46:04	フィルビル。
1:46:09	方針があるから、
1:46:11	それで十分、十分なんだってことなんですかね。
1:46:26	すいません、特徴の特徴じゃないね。特徴じゃないですね。
1:46:34	210 ページですか、検討方針、これで読めばいいんですね上昇側に対応するような、下降側の説明は、
1:46:43	東北でもアオキです。衛藤そうですね 210 ページの 5 件 10 章のところで、
1:46:49	妥当性を確認しているというところになります。以上です。はい。特に気持ちと、はい。名倉さん。
1:46:56	手挙げられてますけど。
1:47:01	あ、すいませんちょっと手短かに聞きます。水位下降側に関しては前回もちょっとヒアリングでお聞きしたんですが施設側の方で方針変更になるので、
1:47:13	そうすると、
1:47:17	急増するっていうことの現象そのものが、
1:47:22	要は、
1:47:24	考慮しなくてもよくなるような気がするんですけど。
1:47:28	時間の算定の考え方を施設側では変えるって聞いたんですが、それに対してどういうふうに今回影響するのでしょうか。
1:47:49	北海道電力、浦でございます。
1:47:53	選んでる波源に、
1:48:01	一番長いものっていうのが、基本的には江良生ていると考えております。そこをこうつなげるっていうだけです。影響はないと考えてございます以上です。
1:48:19	時間が一だから、今区切って、算定に入っていないものが出されるので、
1:48:28	時間そのものについて変わると言うんですけどその時に、
1:48:33	この急増って言うのは、結局、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:36	二つに分かれているものとして算定しているから、
1:48:41	差が出ているんだけど、
1:48:43	それに関しては、ギャップが出ないように算定することになるから、
1:48:49	今回急増するか否かっていうことについては、
1:48:53	これは変わるんですかわからないんですか。
1:48:56	いや最終的な結果が変わる変わらないよっていうことを聞いているんではなくて、
1:49:01	評価の方法が施設側で変わったことによって、
1:49:05	地震津波側も施設への影響の観点では、算定方法が変わるんじゃないですか。
1:49:12	それについて、
1:49:16	説明があるんですかっていうことを聞いているんですが、
1:49:25	これ北海道グループの青木です。
1:49:28	ちょっと、
1:49:29	いつ説明があるんですかっていうところの直接的な回答にはなってると思うんですけど、現在の考え方っていうところでちょっと口頭で説明させていただきます。
1:49:39	衛藤。
1:49:41	基準津波側の審査とこう日本海東縁部の地震単独のところからずっと引き続きやっておりまして、その中の評価っていうところで、当初、やるの評価っていうところで、
1:49:55	より大きなエネルギーが十分にあるので、括弧については波源選定パラスターしなくても良いというところを説明していたところですがそれに関しては施設側の評価の一環になると。
1:50:07	いうところで、コメントを踏まえまして当社として、
1:50:11	距離的ないろいろに関して厳しくなる波源という観点ではなくて、ポンプの取水可能時間を下回る可能性が高い波源というところで波源選定。
1:50:22	するということに考えております。その中で同じようなことを言うように思われるかと思うんですけど。
1:50:29	グループのポンプをし、
1:50:32	下回る波源って、別物というふうに考えておりまして、基準津波としてはポンプの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:39	取水可能水位を下回る波源として一番厳しいものを選ぶというところで、これまで一の評価というところは、基準津波は特に変更する必要がないというふうに考えております。
1:50:52	一方、到達ない方は、
1:50:57	私は理解できません。
1:51:00	先生の影響の観点では元を選ぶので、施設側と同じ考え方にさせていただきたいんですが、
1:51:08	基準津波は全然、そこは、
1:51:11	影響はしないので考慮しませんっていうことではなくて、
1:51:16	施設への影響の観点でいくと、施設側の評価と同じ考え方にせざるをえないんじゃないですか。
1:51:23	てます。
1:51:25	だから、こちらで確認できないような条件は、年使わないでください。
1:51:31	施設側の方で確認している条件については施設が、条件を使ってください。
1:51:37	私たちのこちらの方で独自の説明をされてそれを地震津波側で認めてくださいと言われても、
1:51:44	施設側で違う結論結果が出ている状況において、
1:51:51	依然として、地震津波側で違う条件を使い続けるということについては、
1:51:56	おそらく、
1:51:58	そこで審査が止まってしまう可能性があるのも、それはやめていただきたいと思います。共通にさせていただきたいということが、
1:52:06	これはもう会合で言いますけど、そのようにさせていただきたいと思います。以上です。
1:52:13	国会答弁カールールでございます。
1:52:16	追加効果がの基準津波で、通常どういったものが選ばれているかと私らの認識ですけれども、
1:52:24	追加行に対して、
1:52:27	ポンプの取水に厳しいものっていうのが通常選ばれていると思います。
1:52:33	それでもって入力津波側では、時間の算定なりをやっているものが通常ではないかということで、
1:52:44	薄井に対して厳しいものを選ぶ観点で今回我々出しているのは貯留堰を下回る継続時間或いはパルスを考慮しない時間、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:52	こういったものが数字に、
1:52:54	ポンプ取水するにとって厳しい波源として選んでいるので、その波源でもって入力津波側の貯留、
1:53:02	容量に対する安全性の確認をやっているっていう意味では、
1:53:07	今までやられていた手法を考え方と一緒にではないかと私は考えているんですけども。
1:53:15	私らの考えそういったところなんですけれども、
1:53:21	施設側でどういうふうな考え方を施工するかどうかということとあわせて説明がされていないので、
1:53:29	両方の条件を満たす波源を選ぶということであればそれはそれでいいと思います。
1:53:38	規制庁谷ですけど、すいません横からなんですけど、今だから説明されてることって僕らの直接、
1:53:47	このハザード側では聞いてないですし、まず
1:53:52	何か補足かなんかにでも、施設側でも決まったことがあるんだったら、こういう選び方しますっていうのを示した上で、それとの関係を北海道電力としてはどう考えて今の説明でいいのかっていうのをですね、
1:54:07	ちょっとそれは、基準津波の選定の今までやってきた水とちょっと違う話で、能勢整理になると思いますので、
1:54:18	まずちょっとその関係がどういう関係なのかっていうのを説明してもらえませんか。私も今話を聞いてて、何か違う、違うものでものに着目するんだったら、
1:54:31	当然選定の仕方って変わってきそうな気もするんだけど、それはしなくていいっていう北海道電力の考え言葉で聞いてもですね、ちょっと
1:54:40	今にわかにはわからないところがあつてですね。
1:54:43	まず何か補足とかでいいので、お願いできませんか。
1:54:49	北海道電力オクデラちょっと1点確認なんですけれども、
1:54:53	先行のもののやり方として、基準津波側で水位下降側の最大に影響ある波源っていうものが、す。
1:55:03	臼井変動量なりで選ばれて波源が選ばれて、
1:55:08	それを入力津波側に引き継いだ時に、評価として何秒といった違う項目で評価している事例が、
1:55:17	先行のやり方だと思うんですけども、そういう意味では水を時間という違うものを行っているということで、私らが今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:26	このライブ派遣を選んで、
1:55:30	評価は時間でやるというもののやり方として違うことをやっているという、
1:55:35	ものではないと思っているんですが、先行と同じことをやっていると考えているんですけども、
1:55:41	ちょっと認識は、
1:55:44	私どもの
1:55:46	今回、浜岡と同じようなやり方をしているやり方変えてますよね、今までと。
1:55:56	やり方を、
1:55:59	セガワでわあ、
1:56:01	様の評価と同じやり方にしますと。
1:56:05	ていうことをやろうとしてるって聞いたんですね。
1:56:11	ですから、
1:56:13	施設側の評価は他のサイトと同じようなやり方を、
1:56:17	して時間を足し込む形での時間評価にすると。
1:56:24	地震津波側の方は浜岡と同じようなやり方をそのまま使いますと。
1:56:29	新しいそれはやり方ですね。
1:56:31	今回、浜岡はまだ審査してないので、
1:56:34	まとまっていて、審査としてはまだ確定してないし、
1:56:39	どちらかというところの方が先行する形に今なってますので、
1:56:45	その確認として、
1:56:48	それを使うということであったところが、施設側で変わっているので、そういう意味で私は、施設側が今までのやり方を踏襲していて地震津波側が新しいやり方をしている。
1:57:02	というふうにとらえているんですが、
1:57:05	そういう関係でいくと、
1:57:08	一体どういう関係になってるのか今までの評価と、
1:57:12	確かに基準津波と入力津波側でやり方が違うというパターンは今までD層があったりしてあると思います。
1:57:21	私が聞いているのは、
1:57:25	地震津波側の方が新しいやり方をしている。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:29	施設側が従来のやり方で評価をするといったときに、それについて影響評価とかそういうことをしなくていいんですかっていう観点で聞いてます。
1:57:52	北海道電力小寺でございます。
1:57:56	基準津波側で、
1:57:59	他サイトと違うやり方というのは時間っていう概念が出てきてるってところが違いかと、数字ではなくてですね。
1:58:07	認識しました。いえ、違います。今の観点でやっているものは他のサイトでもあります。
1:58:16	基本津波でしょうか。はい。基準津波で時間という観点でやっているものは、美浜とかあります。
1:58:25	60とかで、
1:58:29	すみません、60までフォローしておりませんでした。はい。
1:58:32	ですからこちらの観点として、
1:58:36	このサイトウではやっぱり時間という観点でもちゃんと見た方がいいということで今やってます。このサイト、他のサイトでやっていなかったかもしれないけれども、
1:58:46	このサイトの条件ではそれがおそらく必要だろうと。
1:58:50	このサイトの条件では、ということで見ているというふうに私認識をしていて、
1:58:56	そういう意味で、このサイトが他のサイトと違って、何て言うのかな、
1:59:04	極めて特異だと。
1:59:06	と言ってるわけでは基本的にはないんですけど、
1:59:09	時間評価をやってることに関して、
1:59:14	これは
1:59:16	ちゃんと一応認識して言ってるつもりですけど。
1:59:34	私が言いたかったのは、はい。この時間の評価のやり方として、
1:59:40	今までと違うやり方をしてますと。
1:59:45	それは、何だ。
1:59:47	浜岡と同じやり方をしてるってことなんですけどね。
1:59:57	ピーク、ピークのとらえ方とその足し込みの仕方っていうのは今までの時間評価のやり方とは違うやり方をしてます。
2:00:07	そのことが言いたかっただけです。
2:00:10	北海道電力奥寺でございます。我々が基準津波で連打やり方、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:18	そういった選ばれた波源に対して、
2:00:21	入力津波でどのように活用どんな考え方で物を進めていくかという我々の考え方を整理したいと思います。以上です。
2:00:38	規制庁谷ですけど、多分それ、どんな考え方で進めていくかというよりも、どういう評価を考えてるから、この基準津波でこう選定すること。
2:00:49	で、問題ないんだって考えてるんでしょ。そこを何か資料にしてもらえたらなど。
2:00:56	いうところですけど、介護で指摘をしちゃってるので、
2:01:03	時間評価の方法については、これ実績がありませんと。
2:01:08	施設側の方でも、施設への影響の観点で審査をするので、
2:01:13	30秒とかそこら辺の条件も含めて妥当性をし、施設側で確認をしたりするから、そういう意味で、
2:01:21	施設側の検討結果についてのフィードバックをお願いしますっていうことは、もう指摘をしています。
2:01:28	ですからそれをいつ、回答するかっていうことかもしれないですけど、
2:01:34	それについてはいつその該当するのかっていうことについてはよく考えていただきたいと思います。
2:01:44	北海道電力奥寺でございます。わかりました。
2:03:09	規制庁谷です。多分細かいことは、まだ実は、確認したいことがある方いるんだと思うんですけども、もう時間も来ているので、
2:03:19	今日のヒアリングこれまでにしたいと思うんですけど、ただですね、ちょっと今回同じ資料で2回のヒアリングを、
2:03:26	して、やっぱりですね事実確認、我々も資料を確認してるつもりではいるんですけども、
2:03:36	やっぱりよくわからないような、確認するようなことが結構たくさんあって、
2:03:41	またなんですか、追加説明事項に至ってはこうだって数ページ確認するのも、
2:03:47	何か、
2:03:48	よくわからないなっていうようなことが、
2:03:54	あってですね。
2:03:55	やっぱりこうなんか1回の会合で本当にこれ全部できるんですかねとか結城なんか気持ちにもなってくるような資料なんですよ。ですからですねそこはちゃんとこう説明すべきポイントを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:07	北海道電力の方で、しっかりとそこを伝えるようにですね資料作ってつくっていただきたいっていうのを感じました
2:04:16	すみませんなんかヒアリングの締めで、こんなこと言うのもあれですけど、
2:04:20	今作られている。
2:04:22	最中で、何かこれどれぐらいに出てくるんですかね次の資料が。
2:04:36	北海道電力奥寺でございます。
2:04:39	今日の事実確認の結果、
2:04:42	等もありますので、
2:04:45	そのあたりも、社内で検討を見積もらせていただけるとありがたいです。以上です。
2:04:52	井谷です。
2:04:53	今日言ってるっていうのが何か新しい検討を求めているようなことは、
2:04:59	やっぱり一つのなかったと思うので、ちょっと考え方、今考えてるようなことがしっかりと資料でわかるようにしてくださいっていうようなことだと思ってますので、
2:05:09	いずれにしてもめどが立ったら、1回ロジ的に連絡いただけたらと思います。次の資料でも論理構成しっかりしていただいて、説明をお願いいたします。
2:05:21	北海道電力からは、いいですか。
2:05:26	北海道電力です。
2:05:28	すいません。
2:05:33	はい規制庁タニですそれではヒアリング終わります。どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。